九州大学社会連携活動レポート

Community Cooperation Report

2014



エネルギー・環境問題,情報化への対応といった社会の変化と要請を受け,大学にとって,社会連携・社会貢献はますます重要な使命となりつつあります。

大学は地域にとって重要な知的資源です。大学の知の営みと研究成果をより広く発信・公開することにより地域の学術・教育・医療・産業の発展に寄与することは、九州大学が目指すべき姿の一つでもあります。

九州大学では、個々の部局で実施している自治体との連携 事業や公開講座・セミナー等、そして産学官連携本部による全 学組織的な事業等により、本学の知見を地域の課題解決に役 立て、また、地域の現状を知り交流を深めることにより、大学にお ける教育と研究、大学病院における医療の一層の向上を目指 す取り組みを継続しています。

今後も、「社会の課題に応える大学」「先端医療により地域と 国際社会に貢献する大学」「知の蓄積と継承・発信を推進する 大学」として、地域との連携活動を行ってまいります。

> 平成27年2月吉日 九州大学社会連携推進室長/理事·副学長 若山 正人



目 次

1 九州大学の社会連携活動について				
2 自治体等との連携について		3		
	【平成23年度】			
11 A 12 14 15 14 17 12 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	【平成24年度】	6		
■ 社会連携事業•活動	【平成25年度】	9		
	【平成26年度】	12		
■特色ある社会連携事業の取り組み		14		
3 組織的な連携の取り組み		22		
4 公開講座等の実施状況 (1) 公開講座の実施状況		25		
(2)講演会・セミナー等の実施状況				
(3) 出前講座, 模擬授業の状況				
5 学生による取り組み				

1 九州大学の社会連携活動について

九州大学の研究・教育は、高度の世界水準を維持しておりますが、これをさらに発展させ、国際競争力のある個性輝く大学として大きく飛躍するために、2つの将来構想を掲げています。

- (1) 研究実績に基づき形成する「新科学領域への展開」
- (2) 歴史的・地理的必然が導く「アジア指向」の具現化

この「新科学領域への展開」と「アジア指向」という将来構想を二本柱として、「研究」、「教育」、「社会連携」、「国際連携」という4つの活動分野に重点をおいて、様々な取り組みを展開しています。また、教育の活動に対しては、「人的資源の重点配置」「研究スペースの整備」「戦略的予算の措置」「研究・教育時間の確保」の4つのインセンティブで支援しています。

4つの活動分野のうち、「社会連携」については、「社会連携事業に関する基本方針」(平成20年5月16日制定)を掲げ、より良い社会の実現に向け、大学が有する全英知を結集し、学内の人材や設備、研究組織を最大限活用して、調査研究や教育指導などの社会連携活動に取り組み、その成果を広く社会に還元・共有する活動を展開しています。

社会連携事業に関する基本方針

1. 基本方針

九州大学は、社会貢献戦略プロジェクトチームが策定した「九州大学の社会貢献実現のための社会連携について」に基づき、以下を社会連携の基本方針とする。

- (1) より良い社会の実現に向けて大学が果たす役割を十分に認識し,本学が有する全英知,設備,研究組織を結集して,そのための調査研究と教育指導にあたること。
- (2) 研究・教育成果を広く社会に還元し、社会と共有することの意義を十分に認識し、そのための社会連携を活性化して、社会貢献を実現すること。

2. 基本方針に基づく取り組み

本学はこの基本方針に基づき,以下の社会連携事業に取り組むこととする。

- (1) 人的ネットワーク型社会連携の強化: 教員の意識改革
- (2) 情報共有型社会連携の強化: 情報受発信の仕組みの改革
- (3)プロジェクト型社会連携の強化:社会の変化に対応した人づくり,ものづくりのための新事業の創成
- (4) 教育サービス面における社会連携の強化: 社会が求める事業への転換
- (5) 全学的な社会連携推進体制の強化: 社会連携推進室の機能強化
- (6) **部局等単位での社会連携推進体制の強化:** 産学連携センター等関係組織及び部局単位での推進 体制の確立
- (7) 自治体及び企業等との連携組織体制の強化:連携協定先との社会連携ネットワーク体制の確立

以上の事業推進に際しては,九州大学同窓生をはじめとして,地域住民,社会活動団体,行政,経済界などと幅広く共同して活動するシステムの構築を目指し,その活動自体が活力ある社会の誕生に貢献するように努める。

2 自治体等との連携について

九州大学では、「社会連携事業に関する基本方針」に基づき、自治体や地域社会の諸セクター(以下「自治体等」)と連携しながら、様々な取り組みを行っています。

これらの社会連携事業のうち、(1)地域社会の活性化や文化の向上に貢献することを目的とした事業、(2)自治体等と本学が一体となって取り組む事業、(3)自治体等との持続的な連携・協働体制の構築が期待できる事業については、経費の一部を大学から支援(社会連携事業経費)し、その活動の推進を図っています。

また,国や自治体の審議会委員や,経済・文化団体の顧問,非政府・非営利組織等への参画等を通じた社会貢献も行っています。

参画している分野等

エネルギー政策,環境保全,科学技術振興,都市計画,防災,河川・地盤対策,行政改革,地方自治,医療制度,社会保障制度,男女共同参画,学校運営,文化芸術振興など

回社会連携事業·活動

【平成23年度】

事業名	実施部局	実施代表者	学外連携機関	学内連携部局
カレー祭り	総務部 社会連携課	カレー祭り実行委員会	伊都国即売会,糸島市	
社会教育主事講習(九州大学会場/文科省主催)	学務部学務企画課	人間環境学 准教授 岡幸江	福岡県教育委員会	人間環境学研究院
第5回 九大☆星まつり in 伊都キャンパス				
九州大学百周年記念観望会				
出前授業 & 天体観望会 in 仙台	基幹教育院	助教 藤原智子	仙台市立中田小学校 仙台市立生出小学校赤石分校 仙台市生涯学習課 科学館 六郷七郷コミネット	
高等学校教員を対象にした歴史学・歴史教育セミナー		教授 佐伯弘次	福岡県高等学校 歴史研究会	比較社会文化研究院
社会連携ワークショップを活用した言語コミュニケーション に関する連携体制の推進・強化	人文科学研究院	教授 西岡宣明	福岡県言語聴覚士会	
九大生AQAプロジェクトによる アジア現代美術展の企画実施	-1	教授 後小路雅弘	(財)福岡市文化芸術振興財団	
糸島市内遺跡の保存活性化事業	比較社会文化研究院	准教授 溝口孝司	糸島市教育委員会	
特色ある研究プログラム「地域社会における日本語支援と 多文化理解教育に関する基礎的研究」		教授 松永典子	愛和外語学院	
九州大学・糸島市・糸島市NPOボランティアセンター連携 事業	;	教授 針塚進	糸島市 糸島市NPOボランティア センター	
子どもの問題を中核においた大学と学校・地域の連携システムの構築と展開		准教授 田上哲	糸島市教育委員会	
新修福岡市史編纂事業		教授 關一敏	福岡市史編纂室	
児童養護施設版安全委員会		教授 田嶌誠一	7県14施設の 児童養護施設	
本庄まちNET事業	人間環境学研究院		本庄まちNET	
NPOもやいバンク福岡事業	八间绿块子训九桥	ル # #	NPOもやいバンク福岡	
全国NPOバンクフォーラム実行委員会		准教授 飯嶋秀治	全国NPOバンクフォーラム	芸術工学研究院
みんぱく映画会ワールドシネマ			国立民族学博物館	
こだちゼミナール			NPO法人九州大学ここ	
現場で使える臨床動作法			ろとそだちの相談室	
学校生活の適応に困難を抱える児童生徒へのメンタルサポート事業		教授 増田健太郎	NPO法人九州大学ここ ろとそだちの相談室 福岡市教育委員会教育 相談課	人間環境学府,実践臨床 心理学専攻
平成22年度医療情報化促進事業(メンタルヘルスケア社会 ネットワーク)うつ病リワークに関する標準的な流れの策定	医学研究院	教授 神庭重信	イーソリューションズ(株) 東日本電信電話(株)	マス・フォア・インダスト 研究所 病院
難病患者への生活相談・就労支援ネットワーク事業	病院	地域医療連携センター長 吉良潤一	福岡県	

事業名	実施部局	実施代表者	学外連携機関	学内連携部局	
第20回医療連携センター講演会 「高齢者の退院支援に繋がる医科歯科チーム医療」		地域医療連携センター長			
第21回医療連携センター講演会 「医療と暮らしを支える在宅医療機器利用患者への支援」		吉良潤一			
福岡県地域がん登録支援事業			福岡県		
カ州大学病院がんセミナー					
福岡県コメディカルスタッフがん医療研修会	がんセンター長 病院 水元一博				
福岡県院内がん登録研修会	179 PJT	3000 14			
福岡県がん診療連携協議会 MSW研修会					
九州大学病院がん化学療法薬薬連携セミナー		がんセンター長 水元一博 薬剤部長 大石了三	福岡市薬剤師会		
第4回九州大学病院 医師に対する緩和ケア研修会		病院長 久保千春 麻酔科蘇生科 教授 外須美夫			
筑豊地区における炭鉱跡地情報の有効活用化に関する 調査・研究		教授 松井紀久男	田川市石炭・歴史博物館		
第7回福岡県防災講演会および地域防災力強化事業		准教授 橋本晴行	福岡県		
音響効果を利用した発達障がい児への教育		准教授 加藤喜峰	福岡市立西部療育センター		
糸島市地理空間情報エキスパート養成事業			糸島市		
GIS基礎技術研究会	- 工学研究院	准教授 三谷泰浩	NPO法人環境システムフ ロンティア		
直方市における市民参加型GISの実現を目指す教育支援 事業		助教 池見洋明	直方市		
上西郷川における住民参加の川づくり 		】工字研究院 】		福津市役所	
古賀市ふるさと見分け・大根川の川づくり			 古賀市役所		
極井川流域治水市民会議		教授 島谷幸宏	樋井川流域治水市民会		
再生氾濫原アザメの瀬における地域活性化計画			議 国土交通省 NPO法人アザメの会		
産学連携技術交流研究会		教授 土肥俊郎	九州地区を中心とする 大,中,小企業ならびに官 学機関		
日田の文化薫る空間資源を活かした多世代市民の創造 交流拠点づくり〜日田市民活動をサポートする中間支援 組織 <q大日田ラボ>の拠点整備と運営を通した社会連 携事業〜</q大日田ラボ>		教授 藤原惠洋	日田市		
生命の家プロジェクト/千の螺旋ハウスの提案 – 僕たちは みんな繋がっている, そしていつまでも続く		准教授 片山雅史	アートサポートふくおか		
津屋崎千軒の建築文化継承に関わる地域連携		准教授 田上健一	福津市		
持続可能な生活文化の学びと創造 — 子どもとともに地域 における共生を発見する試み —		准教授 近藤加代子	太宰府市	農学研究院	
みんなの美術館運動(ミュージアム・フォー・オール)プロ ジェクト		准教授 平井康之	横浜市民ギャラリーあざ み野		
筑紫野市における景観を活かした地域づくりに関する課 題の把握	芸術工学研究院 	助教 福島綾子	筑紫野市教育委員会		
国際里山・田園保全ワーキングホリデーin福岡の実施及び リーダーの養成	*	准教授 朝廣和夫	黒木有機農業の会 黒木町林業振興会 八女市 山村塾 NICE 笠原里山振興会 日本環境保全ボランティ アネットワーク(JCVN)		
「健康と緑の休日」リーフレットづくりと連携の推進			福岡市南区		
市民や企業が参加しやすい森林整備のモデルづくり(パッチワークの森づくり)			山村塾		
高校の化学クラブ活動への支援,調査・研究	芸術工学府	教務職員 今坂智子	福岡県高等学校化学部会	工学研究院,未来化学創 造センター	
「ICTで母子に届ける手頃なヘルスケアサービス」に関する ワークショップ	システム情報科学研究院	准教授 アシル アハメッド	グラミンテクノロジーラボ	ソーシャルビジネスリサー チセンター	
中学生の科学実験教室2011		教授 荒木啓二郎			
福岡県糟屋郡新宮町における飛砂対策に関する社会連	総合理工学研究院		 - - 糟屋郡新宮町	 工学研究院	
携事業		200 MOVIETO		5 .5150150	

事業名	実施部局	実施代表者	学外連携機関	学内連携部局	
なんちゅうカレッジ「おもしろサイエンス」講座	総合理工学府,応用力学研究所,先導物質化学研究所,健康科学センター	准教授 山形幸彦	なんちゅうカレッジ委員会 春日南中学校		
低炭素農業確立のためのメタン発酵消化液均等散布実 証試験		教授 凌祥之	山鹿植木広域行政事務 組合		
粕屋と糸島から北部九州の農の技術と文化の回廊をつくる			糖屋郡粕屋町 糸島市	芸術工学研究院	
地元への農林水産業関連研修会及び地元交流会	教授 中 ¹		福岡市西区役所 福岡市西区北崎校区公民館		
「糸島の土を知ろう!](アグリコラボいとしま第4回ワークショップ)		教授 中司敬	糸島農業産学官連携推 進協議会		
「糸島の土を知ろう! パート2」(アグリコラボいとしま第5回 ワークショップ)			糸島農業産学官連携推 進協議会		
留学生農業体験および地元との交流事業			JA福岡市元岡支店		
子どもの農水畜産業体験学習	J 100 700 700 700 700 700 700 700 700 700	教授 丸居篤			
西区小学生 農水畜産業体験学習	-		福岡市西区役所		
茶葉とビワ葉を原料とした高機能発酵茶の新機能解明と 実用化に向けた研究		教授 松井利郎	長崎県 長崎県立大学 長崎大学		
九重ビジターセンターにおける土壌関連展示		教授 和田信一郎	環境省九重ビジターセンター 日本土壌肥料学会九州支部 大分県農林水産研究指導センター		
大学でカイコの飼育と織物作りにチャレンジしよう		 准教授 伴野豊			
サイエンス・マンス協賛事業「大学の森を歩こう」	# W + 400/1 = > > 1 1		福岡県		
演習林自然散策の会] 農学部附属演習林 福岡演習林 	准教授 薛孝夫			
北海道演習林を活用した中大連携・高大連携事業			北海道立足寄高等学校		
地域の教育機関との連携による北海道演習林を活用した 自然体験事業			足寄町立足寄中学校 足寄町教育委員会 北海道立足寄少年自然		
			の家(ネイパル足寄)		
水の環境レスキュー隊			北海道立足寄少年自然 の家(ネイパル足寄)		
足寄町若手職員研修					
九州大学大学院農学研究院と足寄町との協力協定にもと づく請演会	農学部附属演習林 北海道演習林		准教授 久米篤	足寄町	
JICA集団研修					
環境保全農業論実習			北海道立農業大学		
森林施業技術研修会					
				北海道教育委員会	
十勝管内人材育成研修			十勝総合振興局		
道内林業技術研修会			北海道水源林造林協議会		
福岡都市成長戦略プロジェクト			有限責任事業組合(LLP) 福岡都市成長戦略プロジェクト ・ (株福岡リアルティ	経済学研究院 国際法務室	
大牟田市いきいき長寿まちづくり計画策定事業	統合新領域学府 工学研究院	教授 坂口光一	大牟田市		
博多織次世代人材育成事業			NPO法人博多織デベロッ プメントカレッジ 博多織工業組合		
ひらめき☆ときめきサイエンス「植物由来の高分子をナノ加 エして里芋の葉のように水をはじく表面をつくってみよう」	先導物質化学研究所	教授 高原淳	日本学術振興会		
九州大学百年の宝物-附属図書館貴重資料コレクション-			紀伊国屋書店		
全国遺跡資料リポジトリ・ワークショップ	. 附属図書館		国立情報学研CSI委託事業(領域2) 全国遺跡資料リポジトリ・ プロジェクト		
日炭高松炭鉱回顧録編纂事業		教授 三輪宗弘	日炭高松OB会		
口次问心则以此时既然而紊于未	门权癿蚜具付贴				

事業名	実施部局	実施代表者	学外連携機関	学内連携部局
高校生理数能力向上事業理数オリンピックセミナー	高等教育開発 推進センター	教授 副島雄児	福岡県教育庁	
巡回展示「みんなで作ろうミュージアム・プロジェクト」	総合研究博物館	教授 松隈明彦	糸島市	工学研究院, 宙空環境研究センターほか
九大・糸島市民の情報交換及び連携交流事業			糸島市	工学研究院,総合研究博 物館
国際宇宙天気主導(ISWI)事業による国際貢献と最先端 普及活動	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	センター長 湯元清文	日本学術会議地球惑星 科学委員会	
九州大学箱崎キャンパス周辺の小・中学校への宇宙天気 アウトリーチ活動			福岡市東区東箱崎公民館	
大磯町町民アウトリーチ・最先端自然科学普及事業			神奈川県中郡大磯町	総合研究博物館
市民建築文化展•市民建築講演会	産学連携センター	教授 湯本長伯	九州国立博物館	
木質バイオマスワークショップ「森の自然エネルギーで拓く 地域の明日〜先進地と極意を語り合う〜」	炭素資源国際教育 研究センター	准教授 近藤加代子	(独)産業技術総合研究所 パイオマス研究センター (公財)法人新産業創造研 究機構 (㈱九州電技開発	
元気な高齢期を送るための生活習慣づくり支援事業		准教授 眞崎義憲	糸島市	
地域における効果的な介護予防対策に関する調査研究 (篠栗研究)	健康科学センター	教授 熊谷秋三	糟屋郡篠栗町	
なかなかよか健康チャレンジ事業の推進	1 50,51115	教授 橋本公雄	筑紫野市	
九州大学創立百周年QUウォーク		准教授 林直亨		
平成23年度 「組織対応型連携オープンイノベーションワークショップ」	知的財産本部	本部長 安浦寛人		

【平成24年度】

事業名	実施部局	実施代表者	学外連携機関	学内連携部局
九州大学 ホームカミングデー&アラムナイフェス	総務部基金事業課		九州大学福岡同窓会	
九州大学創立百周年記念コンサート	学務部学務企画課			
九大100年まつり	伊都共通事務部総務調 整課			
夏野菜カレー祭り	産学・社会連携課	夏野菜カレー祭り 実行委員会	伊都国即売会, 糸島市	
第6回「九大☆星まつり」in 伊都キャンパス	基幹教育院	助教 藤原智子		
高校教員を対象にした歴史学・歴史教育セミナー		教授 佐伯弘次	福岡県高等学校歴史研 究会	比較社会文化研究院
言語コミュニケーションに関する異分野間の相互連携体制 (連携クロスオーバー)の構築		教授 西岡宣明	福岡県言語聴覚士会	
九大生AQAプロジェクトによる現代美術展		教授 後小路雅弘	(公財)福岡市文化芸術 振興財団	
地域社会における日本語教育と多文化理解教育に関する 社会連携事業	比較社会文化研究院	教授 松永典子	(財)福岡県国際交流センター	
子どもの問題を中核においた大学と学校・地域の連携シ ステムの構築と展開	人間環境学研究院	准教授 田上哲	糸島市教育委員会	
不登校児童生徒の居場所活動「ここりーと」の展開	八间绿绕于训元机	教授 増田健太郎	NPO法人九州大学ここ ろとそだちの相談室	
図書館職員中堅職員研修会	法学研究院	教授 寺本振透		
博多港の存在意義の市民への訴求	経済学研究院	教授 星野裕志	福岡市	
島原半島世界ジオパークと連携したジオツアー	理学研究院附属地震火 山観測研究センター	教授 清水洋	島原半島ジオパーク推進 連絡協議会	
福岡市こども未来局子育て支援部平成24年度 健康・安 全研修会	歯学研究院	講師 山座治義	福岡市	
難病患者への生活相談・就労支援ネットワーク事業		医療連携センター長 吉良潤一	- 福岡県	
がん患者支援ネットワーク事業		がんセンター長 水元一博	1 個 例 乐	
矯正無料相談	病院	矯正歯科長 高橋 一郎		
第3回人体・病理ミュージアムー般公開 九州大学医学部病理学108年の遺産	が見元 			
きらめきプロジェクト			福岡県医師会 歯科医師会総合メディカ ル(株)	
	工学研究院	准教授 橋本晴行	福岡県	

事業名	実施部局	実施代表者	学外連携機関	学内連携部局
筑豊地区における炭鉱跡地情報の有効活用化に関する 調査研究		教授 松井紀久男	田川市石炭•歴史博物館	
糸島市地理空間情報エキスパート養成事業		准教授 三谷泰浩	糸島市	
再生氾濫原アザメの瀬における地域活性化計画			国土交通省 NPO法人アザメの会	
白糸の滝1・2・3夢プロジェクト小水力発電公開イベント	工学研究院	教授 島谷幸宏	糸島市	
直方市における市民参加型GISの実現を目指す教育支援		助教 池見洋明	機明和製作所 	
事業 地域環境を考慮した高効率養鶏システムの構築		数授 佐々木久郎	鹿児島県養鶏協会	
津屋崎千軒の建築文化継承に関わる地域連携		数技 性 不	福津市	
つながりもやいプロジェクト〜九大生が日本の宝島天草島 民ともやいあう高浜フィールドワークと地域固有資源を活かした地域再生元気創造デザインワークショップ		/E-VIX HI-TE	天草市	
第7回天草謹製公開審査会				
湯ったり菊池の軽トラ朝市支援出店Q大ショップ				
菊池ルネサンス路上観察学会	芸術工学研究院	教授 藤原惠洋		
「菊池文化資源総合調査」菊池まちづくり道場			菊池市	
菊池市民広場再整備協議会(任意団体)主催市民ワーク ショップ				
日田ラボくるぶるツアー				
日田ラボ・日田駅ワークショップをデザインする			日田市	
ユニバーサルシティ福岡プロジェクト	芸術工学研究院	准教授 平井康之	福岡市	総合研究博物館
みんなの美術館(ミュージアム・フォー・オール)プロジェクト	芸術工学研究院 総合研究博物館	准教授 平井康之	美術館XインクルーシブX デザイン実行委員会 横浜市民ギャラリーあざ み野((公財)横浜市芸術 文化振興財団)	
ミュージアムバスプロジェクト		助教 藤智亮	西日本鉄道㈱ 西主管壱岐自動車営業所 (財)九州大学学術研究 都市推進機構	総合研究博物館
「いとゴン」オンリーワン戦略による糸島市民の活力向上に 関する研究			糸島市	
スタンが、 みんなの広報研修会		教授 清須美匡洋		
『天草松島』の景観再生支援事業「あるべき姿の検討会」	芸術工学研究院		熊本県天草地域振興局	
生命の「らせん」をアートで楽しむ(ワークショップ)			国営海の中道海浜公園 NPO法人あーともん	
 糸島の土で絵の具を作ろう!(糸島芸農ワークショップ)		教授 片山雅史	糸島芸術祭実行委員会	
大濠と福岡の子供たちを繋ぐひまわりプロジェクト写生会 (ワークショップを交えた写生会および美術館での展覧会 企画)			大濠と福岡の子供たちを 繋ぐひまわりプロジェクト 実行委員会 大濠・西公園管理事務所	
港湾附属施設のワイヤレスブロードバンド化および同所の 商業活動を活性化させるICT利活用モデルの構築		教授 古川浩	(株)ベイサイドプレイス博多 福岡地域戦略推進協議会	
電気エネルギー環境工学講座	システム情報科学研究院	准教授 東川甲平	九州パワーアカデミー IEEE Fukuoka Section	
中学生の科学実験教室2012				
福岡県糟屋郡新宮町における飛砂対策に関する社会連 携事業	総合理工学研究院	教授 松永信博	糟屋郡新宮町	工学研究院
シートパイプ暗渠の灌漑機能付加とその普及		准教授 福田哲郎	大分県	
竹の特性(消臭等)を利用した生ごみの回収・堆肥化システム構築事業		准教授 山川武夫	熊本県球磨郡多良木町	
プログライス 持続的な草原利用と牛生産の推進をめざす地域・官学連携事業	農学研究院	 教授 福田晋	大分県竹田市	
55章 表 ************************************)		 糸島農業産学官連携推 進協議会	
··· 大分県内における耕作放棄地放牧の推進とICT放牧管理	農学部附属農場高原農 業実験実習場	 准教授 後藤貴文	大分県	システム情報科学研究
システムの普及事業 篠栗九大の森	· 不不切不日彻	 演習林長 吉田茂二郎	篠栗町	
フクオカサイエンスマンス「大学の森を歩こう」	 農学部附属演習林 福岡演習林	百田及一即 福岡演習林長 古賀信也	福岡県	
	福岡演習林	口見信じ 演習林技術室長		

事業名	実施部局	実施代表者	学外連携機関	学内連携部局
山間奥地集落における初等教育課程への森林環境教育 の実践的導入	農学部附属演習林 宮崎演習林	准教授 榎木勉	宮崎県東臼杵郡 椎葉村立大河内小学校	
北海道演習林を活用した中大連携・高大連携事業			北海道立足寄高等学校 足寄町立足寄中学校	
北海道演習林におけるカラマツ育林技術の普及促進事業			北海道足寄郡足寄町	
地域の教育機関との連携による北海道演習林を活用した 自然体験事業	 農学部附属演習林 北海道演習林	 准教授 久米篤	ネイパルあしょろ 足寄町教育委員会	
足寄町職員研修	100年起於日刊		足寄町	
カラマツ林業グループ研修			池北三町林業関係者	
旭川医大看護科早期体験実習			足寄町国民健康保険病院	
第5回うまいもん同窓会	九州大学農学部同窓会			
Polymer Expo 2012(第61回高分子学会年次大会併設)組み換え可能な特殊な化学結合を利用して自己修復性高分子材料の創製を目指すNEXTプログラムのプロジェクト概要紹介に関する展示	先導物質化学研究所	教授 高原淳 准教授 大塚英幸	高分子学会	
平成24年度化学研究費助成事業(文科省科学研究費補助金) 楽しい実験教室「高分子の網目構造・ゲルを作ってみよう」	70470 X 107 917071	教授 高原淳		
九州大学百年の宝物-附属図書館貴重資料コレクション-				
「宗像・沖ノ島と関連遺産群」の世界遺産登録に向けての 映像制作活動	附属図書館			芸術工学研究院
会計に関する行政文書の廃棄に係る歴史公文書の選別 基準に関する研究	附属図書館 付設記録資料館			
他機関からの照会及び回答並びに通知及び報告等に関 する行政文書の廃棄に係る歴史公文書の選別基準に関 する研究		教授 三輪宗弘	熊本県	
UNIX初級	情報基盤研究開発センター	センター長 青柳睦		
UNIX中級				
九大のコンピュータにさわってみよう				
高性能アプリケーションサーバチューニング	i≠±₽ ≢ ₩ π			
並列プログラミング入門	· 情報基盤研究開発センター	センター長 青柳睦		
新スーパーコンピュータ利用講習会				
Marc/Mentat				
巡回展示「みんなで作ろうミュージアム・プロジェクト」		助教 丸山宗利	糸島市	
総合研究博物館アンモナイト化石標本ミニ展示「松本コレ クション」				
九州大学総合研究博物館・水族館劇場恊働特別企画 舞台制作ワークショップ「場を造る一砦と迷宮ー」				
博物館特別展示「闇夜にきらめく蛾」				
「場を越える一大水族館劇場展・星澄ム郷から一」			水族館劇場	
九大博物館探検 発見したもの,びっくりした気持ちを絵本にしよう!	】総合研究博物館 			統合新領域学府
総合研究博物館特別展示「アリの巣の生きもの」				
合同展示「FUKUOKAこども地球防衛隊―未来の地球を 救うのはキミだ!―」			福岡市立少年科学文化 会館	
たんけんみらいタウン 学んで創エネ・遊んで省エネ			アイランドシティ・アーバン デザインセンター	
生きる木製什器展「知春草生」				
九州大学箱崎キャンパス周辺の小・中学校への宇宙天気 アウトリーチ活動			福岡市東区 東箱崎公民館	
九大・糸島市民の情報交換及び連携交流事業	国際宇宙天気科学・教育 センター	センター長 湯元清文	糸島市	工学研究院,総合研究博 物館
大磯町町民アウトリーチ・最先端自然科学普及事業			神奈川県中郡大磯町	総合研究博物館
市民建築文化教育普及事業(建築インテリア都市等の空間文化に関する、エンドユーザー向け教育普及事業)	産学連携センター	教授 湯本長伯	福岡インテリアコーディ ネーター協会	芸術工学研究院 工学研究院 人間環境学研究院

事業名	実施部局	実施代表者	学外連携機関	学内連携部局
アントレプレナーシップ教育に関する3日間の国際ワーク ショップ		 准教授 五十嵐伸吾 	NPO法人グローバル・アン トレプレナーズ・クラブ	
【Kauffman Fellows Program/QREC連携セミナー&ワー クショップ】 一新しいビジネスをデザインできる人材になる ために —	ロバート・ファン/アントレ プレナーシップ・センター 	教授 谷川徹	KauffmanFellows Program(KFP)	
元気な高齢期を送るための生活習慣づくり支援事業	健康科学センター	准教授 眞崎義憲	糸島市	
地域高齢者における軽度認知障害(MCI)の保護・改善因 子に関する調査		教授 熊谷秋三	糟屋郡篠栗町	
九州大学創立百周年記念第4回QUウォーク	健康科学センター, 百周年基金事業推進室	准教授 林直亨		
中学生のためのキャリアデザイン啓発事業	男女共同参画推進室	室長 樗木晶子	福岡市市民局男女共同 参画部男女共同参画課	

【平成25年度】

事業名	実施部局	実施代表者	学外連携機関	学内連携部局
若田宇宙飛行士とのリアルタイム交信	総務部総務課広報室		福岡県 宇宙航空研究開発機構	
九州大学ホームカミングデー&アラムナイフェス	総務部基金事業課		九州大学福岡同窓会	
夏野菜カレー祭り	産学•社会連携課	夏野菜カレー祭り 実行委員会	伊都国即売会 糸島市	
地域高齢者における軽度認知障害(MCI)とその保護因子 に関する縦断調査		教授 熊谷秋三	糟屋郡篠栗町	
元気な高齢期を送るための生活習慣づくり支援事業		准教授 眞崎義憲	糸島市 糸島市教育委員会	
地域貢献型科学コミュニケーション活動ネットワークの構築		教授 副島雄児	福岡県	総合研究博物館
		助教 藤原智子		
高校教員を対象にした歴史学・歴史教育セミナー	人文科学研究院	教授 佐伯弘次	福岡県高等学校歴史研 究会	比較社会文化研究院
「ことばの教育と臨床の現場」サポートプロジェクト		教授 久保智之	福岡県言語聴覚士会	人文科学研究院
地域社会における日本語教育と多文化理解教育に関する 社会連携事業	比較社会文化研究院	教授 松永典子	NPO法人女性エンパワー メントセンター福岡	
子どもの問題を中核においた大学と学校・地域の連携シ ステムの構築と展開		准教授 田上哲	糸島市教育委員会	
不登校児童生徒の居場所活動「ここりーと」とスクールメン タルサポート活動の展開		教授 増田健太郎	福岡市教育委員会	
デ羽エコミュージアム構想		教授 菊地成朋	うきは市	
地域住民参加型で進める耐震補強スキームの構築に関す る実験的研究		准教授 中原浩之	都城工業高等専門学校 建築学科 沖縄県八重山郡竹富町 役場	
 地球市民育成のための小大連携ワークショップ	法学研究院	准教授 大賀哲	筑紫野市立吉木小学校	
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	理学研究院	准教授 鹿島薫		
要仙普賢岳平成新山防災調査登山				
	理学研究院附属地震火	教授 清水洋	雲仙岳災害記念館	
島原半島世界ジオパークと連携したジオツアー	- 山観測研究センター -	332 7,334	島原半島ジオパーク推進 連絡協議会	
第4回人体・病理ミュージアムー般公開	医学研究院 病院			
がん患者支援ネットワーク事業 		がんセンター長 水元一博	福岡県	
きらめきプロジェクト	病院		福岡県医師会 歯科医師会 総合メディカル(株)	
難病患者への生活相談・就労支援ネットワーク事業		教授 吉良潤一	福岡県重症難病患者入院施設確保等事業 福岡県難病相談・支援センター事業	医学研究院
別府市内における温泉効能別にみた個別化健康増進事業	病院(別府病院)	教授 三森功士	別府市医師会	
炭鉱関連博物館連携ネットワークを利用した炭鉱遺産を 活用した教育プログラムの提案	工学研究院	教授 松井紀久男	釧路市立博物館	
糸島市地理空間情報エキスパート養成事業	1		糸島市	

事業名	実施部局	実施代表者	学外連携機関	学内連携部局
再生氾濫原アザメの瀬における地域活性化計画		教授 島谷幸宏	国土交通省 NPO法人アザメの会	
アザメの瀬 夏休み環境学習教室			NPO法人アザメの会	
野川見学会	-			
大根川における市民参加の川づくりプロジェクト			古賀市	
第10回ふくおか水もり自慢in朝倉	工学研究院	教授 島谷幸宏	ふくおか水もり自慢実行 委員会 福岡県 川づくりネット福岡	
上西郷川における環境学習教室			福津市役所	
直方市における市民参加型GISの実現を目指す教育支援 事業		助教 池見洋明	直方市	
旧高千穂鉄道高千穂線の思い出の風景の記録冊子の作成		准教授 樋口明彦	宮崎県西臼杵郡日之影町	
第10回種子島ロケットコンテスト		教授 麻生茂	種子島ロケットコンテスト 大会実行委員会	工学研究院
津屋崎千軒の建築文化継承に関わる地域連携		准教授 田上健一	福津市	
つながりもやいプロジェクト〜九大生が日本の宝島天草島 民ともやいあう高浜フィールドワークと地域固有資源を活 かした地域再生元気創造デザインワークショップ		教授 藤原惠洋	熊本県天草市	
菊池文化資源総合調査・菊池まちづくり道場			熊本県菊池市	
ミュージアムバスプロジェクト		助教 藤智亮	西日本鉄道㈱西主管壱岐自動車営業所 (公財)九州大学学術研究 都市推進機構	総合研究博物館
人にやさしい/人がやさしい社会実現のためのフォーカス グループプロジェクト		 准教授 平井康之	(社生き方のデザイン研究所	総合研究博物館
大濠公園ひまわり写生大会			大濠•西公園管理事務所	
日韓インターカレッジ・コンピュータ音楽フェスティバル 2013 in 福岡			音楽工房freq インターカレッジ・コン ピュータ音楽コンサート 実行委員会 情報処理学会音楽情報 科学研究会(SIGMUS)	
dandancanvas(ワークショップ)		准教授 鵜飼哲矢	アトリエブラヴォ 工房まる	
中山間地水害後の農林地復旧支援モデルに関する研究		准教授 朝廣和夫	八女市 山村塾 独立行政法人科学技術 振興機構社会技術開発 センター	芸術工学研究院
遊べる! デジタルアート展~音と映像 ぼくらのフシギ体験~			福岡県 福岡市 (公財)アクロス福岡 (公財)福岡市文化芸術 振興財団	
九響ジャンプ!トークセッション&ライブ			九州交響楽団	
芸術工学部大公開!~36個のフシギ体験~		h		
港湾附属施設のワイヤレスブロードバンド化および同所の 商業活動を活性化させるICT利活用モデルの構築		教授 古川浩	福岡地域戦略推進協議会	
九州大学イメージ・メディア理解研究室とのコラボさるく企画 プラチナパスポートを利用して長崎観光をお得に楽しもう	システム情報科学研究院		(社)長崎国際観光コンベン ション協会	
中学生の科学実験教室2013				
福岡県糟屋郡新宮町における飛砂対策に関する社会連携 事業	総合理工学研究院	教授 松永信博	糟屋郡新宮町	工学研究院
多良木町における生ごみを利用した完熟堆肥の製造法の 開発		准教授 山川武夫	熊本県球磨郡多良木町	
農学研究院と北海道足寄町との協力協定にもとづく講演 会開催	. 農学研究院	教授 大槻恭一	北海道足寄郡足寄町	
重要文化的景観「通潤用水と白糸台地の棚田景観」におけ る水生生物を通した地域の担い手育成事業	, 교로 구·네고(네고	助教 鬼倉徳雄	山都町教育委員会 (熊本県上益城郡)	
アグリコラボいとしま第8回ワークショップ『今, 農に吹く風』			糸島農業産学官連携推 進協議会	
食×科学の体感型イベント「科学,食べました」	生物資源環境科学府		奈良女子大学大学院人 間文化研究科	

事業名	実施部局	実施代表者	学外連携機関	学内連携部局
大分県内における耕作放棄地放牧の推進とICT放牧管理システムの普及事業	農学研究院 高原農業実験実習場	准教授 後藤貴文	大分県	システム情報科学研究院
里山における初等及び中等教育課程の森林環境教育の実 践的導入	農学部附属演習林福岡演習林	准教授 内海泰弘	宗像市日の里西小学校 篠栗町立篠栗北中学校 篠栗町教育委員会 久山町教育委員会	
大学の森のサイエンス			福岡県	
山間奥地集落における初等教育課程への森林環境教育の 実践的導入	農学部附属演習林 宮崎演習林	准教授 榎木勉	宮崎県東臼杵郡 椎葉村立大河内小学校	
北海道演習林におけるカラマツ育林技術の普及促進事業			北海道足寄郡足寄町	
北海道演習林を活用した中大連携・高大連携事業			北海道立足寄高等学校 足寄郡足寄町立足寄中 学校	
旭川医大看護科早期体験実習				
帯広の森づくり協議会視察研修	農学部附属演習林 北海道演習林	准教授 久米篤 	帯広市都市建設部みどり の課	
日本山岳会高尾の森づくり会美林見学			日本山岳会 高尾の森づくりの会	
十勝の木で家をつくる会研修			十勝の木で家を作る会	
北海道森林ボランティア協会研修			北海道森林ボランティア 協会	
第54回附属図書館貴重文物展示 「建築家の礎 — 一枚の設計図のために —」	+			
日本住血吸虫中間宿主発見百周年記念展	附属図書館		特定非営利活動法人 宮入慶之助記念館	医学研究院
夢野久作と『ドグラ・マグラ』- 初期自筆原稿の発見 -				
UNIX入門				
Gaussian利用法				
スーパーコンピュータ利用法				
Marc/Mentat利用法	情報基盤研究 開発センター	センター長 青柳睦		
Xeon Phi利用講習会				
GPGPU利用講習会				
高性能アプリケーションサーバ利用				
巡回展示「みんなで作ろうミュージアム・プロジェクト」		助教 丸山宗利	糸島市	
ミュージアムバスの世界 - 九州大学の標本・資料を魅せる-		准教授 中西哲也	福岡県青少年科学館	
九州大学総合研究博物館 特別展示「ゾウムシの世界」				農学研究院
九州大学総合研究博物館 糸島巡回展「アリの巣の生きもの展」	総合研究博物館		糸島市志摩歴史資料館	
パフォーマンスライブ@博物館第一分館倉庫 「カラダが動けば、機械も踊る」			Selbst(ゼルプスト)	
九州大学創立百周年記念事業総合研究博物館展示				
子どもワークショップ「見つけて, 名前を付けて!草花で標本石けんをつくってみよう」		准教授 三島美佐子 	箱崎公民館	統合新領域学府
九州大学箱崎キャンパス周辺の小・中学校への宇宙天気 アウトリーチ活動			福岡市東区東箱崎公民館	
九大・糸島市民の情報交換及び連携交流事業	国際宇宙天気科学	センター長 羽田亨	糸島市	工学研究院, 総合研究博物館
大磯町町民アウトリーチ・最先端自然科学普及事業	教育センター		神奈川県中郡大磯町	総合研究博物館
フクオカサイエンスマンスメインイベント 科学工作教室&実験教室にて 「オーロラの不思議を探ろう!~電気, 磁石, 光の共演~」		特任助教 阿部修司	福岡県	
九大キャンパスの風景―桂木勝彦写真展―		+		
シリーズ展示・箱崎キャンパスの近代建築	附属図書館			
第5回九州大学QUウォーク	キャンパスライフ 健康支援センター			
アントレプレナーシップ教育に関する 国際ワークショップ イノベーションを生み若者の夢を実現するアントレプレナー シップ教育とは	ロバート・ファン/アントレ プレナーシップ・センター			

【平成26年度(10月31日現在)】

事業名	実施部局	実施代表者	学外連携機関	学内連携部局
九州大学ホームカミングデー&アラムナイフェス2014 伊都キャンパスを見よう!知ろう!楽しもう!	総務部基金事業課		九州大学福岡同窓会	
世界に羽ばたく未来創成科学者育成プロジェクト受講生 募集!	学務部学務企画課		福岡県教育委員会 佐賀県教育委員会 山口県教育委員会 福岡県SSHコンソーシア ム協議会	理学研究院 工学研究院 芸術工学研究院 農学研究院
Eat Ito 2014〜糸島夏野菜カレーを食べよう!〜	産学•社会連携課		糸島市	基幹教育院 学生支援課
臨床と教育の現場に向けてのことばに関する学術的支援	人文科学研究院	教授 久保智之	福岡県言語聴覚士会	
地域貢献型科学コミュニケーション活動ネットワークの構築		教授 副島雄児	福岡県	総合研究博物館
依存症から考える喫煙, 飲酒, 薬物乱用防止教室および 薬物乱用防止教育教材作成事業	基幹教育院	准教授 眞崎義憲	福岡県教育庁福岡教育 事務所	
	比較社会文化研究院	教授 松永典子	NPO法人女性エンパ ワーメントセンター福岡	
子どもの問題を中核においた大学と学校・地域の連携シ ステムの構築と展開		教授 田上哲	糸島市教育委員会	
不登校児童生徒の居場所活動「ここりーと」とスクールメン タルサポーター活動の展開	人間環境学研究院	教授 増田健太郎	NPO法人九州大学 こころとそだちの相談室	
浮羽まるごと博物館構想		教授 菊地成朋	うきは市	
児童福祉分野の情報デザインを探る 〜福岡市こども総合相談センターと連携して〜		講師 田北雅裕	福岡市	
地球市民育成のための小大連携ワークショップ			筑紫野市立吉木小学校	
平和のつたえ方ワークショップ―過去とむきあう, 現在につ なげる, 未来をつくる				
和のミュージアム まちづくり,日本文化,地域文化ワークショップ	法学研究院 	准教授 大賀哲 	NPO法人福博相伝の会	
NGO合同説明会 in 九州大学			(特活)NGO福岡ネット ワーク(FUNN)	九州大学国際交流推進
ひらめき☆ときめきサイエンス「湖, 湿原, 干潟の環境はどの ように変化した?」	理学研究院	准教授 鹿島薫	日本学術振興会	
島原半島世界ジオパークと連携したジオツアー	理学研究院附属地震火 山観測研究センター	教授 清水洋	島原半島ジオパーク推進 連絡協議会	
がん患者支援ネットワーク事業	病院	がんセンター長 水元一博	福岡県	
第5回 人体・病理ミュージアム一般公開		教授 島谷幸宏		
別府市内における温泉効能別にみた個別化健康増進事業	病院別府病院	教授 三森功士	別府市医師会	
炭鉱関連博物館連携ネットワークを利用した炭鉱遺産を 活用した教育プログラムの提案		教授 松井紀久男	釧路市立博物館	
糸島市地理空間情報エキスパート養成事業		教授 三谷泰浩	糸島市	
再生氾濫原アザメの瀬における地域活性化計画		教授 島谷幸宏	国土交通省	
直方市における市民参加型GISの実現を目指す 教育支援事業		助教 池見洋明	直方市	
糸島市災害リスクコミュニケーション事業		教授 三谷泰浩	糸島市	
唐津みなと里山づくりの支援	工学研究院		唐津市	
福島地域景観まちづくり協議会による持続可能な地域コ ミュニティ形成に向けたアクションプログラムの実践		准教授 樋口明彦	長崎県松浦市	
大分県日田市の大山川・三隅川・花月川における河川環 境保全と水災害の防災・減災の両立への取り組み		准教授 矢野真一郎	日田市	
上西郷川における地域 - 行政 - 大学の連携による日本一 の郷川(さとがわ)づくりの取り組み		助教 林博徳	福津市 福津市立福間南小学校	
海と船を知る教室			日本船舶海洋工学会	
津屋崎千軒の建築文化継承に関わる地域連携		准教授 田上健一	福津市	
ユネスコ世界文化遺産をものがたる天草石工と九大生が つながりもやう域学連携デザインワークショップ		教授 藤原惠洋	天草市	人間環境学研究院
人にやさしい/人がやさしい社会実現のためのフォーカス グループプロジェクト	· 芸術工学研究院	***** ****	(社)生き方のデザイン研究所	
		准教授 平井康之 	福岡市 NPO法人ドネルモ	
 大濠ひまわり芸術祭実行委員会	1	 准教授 片山雅史	大濠•西公園管理事務所	

事業名	実施部局	実施代表者	学外連携機関	学内連携部局
港湾附属施設のワイヤレスブロードバンド化および同所の 商業活動を活性化させるICT利活用モデルの構築	システム情報科学研究院	教授 古川浩	福岡地域戦略推進協議会	
福岡県糟屋郡新宮町における飛砂対策に関する社会連 携事業	総合理工学研究院	教授 松永信博	糟屋郡新宮町	工学研究院
多良木町における生ゴミを利用した完熟堆肥の製造法の 開発		准教授 山川武夫	多良木町	
重要文化的景観「通潤用水と白糸台地の棚田景観」における水生生物を通した地域の担い手育成事業	農学研究院	助教 鬼倉徳雄	山都町教育委員会	
唐津市民,青少年へのアウトリーチ事業			唐津市	
豊かな長寿社会をめざす講演会(第5回)		准教授 佐藤匡央	糸島市	
里山における初等及び中等教育課程の森林環境教育の 実践的導入	農学部附属演習林 福岡演習林	准教授 内海泰弘	篠栗町教育委員会	
北海道演習林におけるカラマツ育林技術の普及促進事業	# W +0011 E >= 33 11		足寄町	
北海道演習林を活用した中大連携・高大連携事業	農学部附属演習林 北海道演習林	准教授 久米篤	北海道立足寄高等学校 足寄町立足寄中学校	
山間奥地集落における初等教育課程への森林環境教育 の実践的導入	農学部附属演習林 宮崎演習林	准教授 榎木勉	椎葉村立大河内小学校	
大分県内における耕作放棄地放牧の推進とICT放牧管理 システムの普及事業	農学部附属農場高原農 業実験実習場	准教授 後藤貴文	大分県	システム情報科学研究院
標本観察 & 表現ワークショップ 「みんなでつくろう標本ものがたり~標本になりきって演じ てみよう~」	統合新領域学府総合研究博物館			
ペシャワール会活動写真展 〜辺境の大地に根ざして〜	附属図書館		ペシャワール会	
巡回展示「みんなで作ろうミュージアム・プロジェクト」		助教 丸山宗利	糸島市	
市民参加型調査説明会 タンポポ調査2015調査説明会			タンポポ調査西日本2015福岡県実行委員会	
「うつわと九大」 ミュージアムウィーク2014参加企画 特別展示 九大特注白磁の謎				アジア埋蔵文化財研究センター
博物館ワークショップ 標本 de 表現 「国際博物館の日2014」記念特別企画	総合研究博物館			
博物館特別企画第二弾 旧知能機械実習工場 夜会 「国際博物館の日」記念	madi siocis in			
夏の昆虫展示1 裏山の昆虫 小松貴写真展				農学部
夏の昆虫教室 セミのぬけがら樹脂封入教室				
九大・糸島市民の情報交換及び連携交流事業	国際宇宙天気科学・教育センター	センター長羽田亨	糸島市	工学研究院 総合研究博物館
大磯町町民アウトリーチ・最先端自然科学普及事業	677-		神奈川県中郡大磯町	総合研究博物館
伝統的食文化を継承するための官民学連携による協同食育とそのネットワークの構築~九大「自炊塾」プログラムの社会的普及展開		准教授 比良松道一	佐伯市	
高知県いの町における地域社会・企業・大学の協働による 「和紙の力」再構築プロジェクト	 持続可能な社会のための 決断科学センター	准教授 田中求	明るい柳野を創る会	
地域住民の連携による中津干潟の自然再生計画		助教 山下奉海	NPO法人水辺に遊ぶ会	
営農指導員との連携で目指す中山間地農業の活性化〜 伝統農法の保全と地域特性のブランド化を通して〜		助教 黒江美紗子	新あきた農業協同組合	
「プロフェッショナルへのキャリア & ライフパス―女性研究 者・技術者編―」	男女共同参画推進室		福岡県男女共同参画 センターあすばる	

回特色ある社会連携事業の取り組み

事業名

特色ある

取り組みの

概要

地球市民育成のための小大連携ワークショップ

平成26年1月15日, 筑紫野市の小学校で, 教員1名と法学部, 21世紀プログラムの大学生20名が参加し, 6年生60名を対象に「水」をテーマにした2つのワークショップを開催しました。

まずワークショップ | では、ユニセフについての活動ビデオを視聴し、きれいな水にアクセスすることができない地域で実際にどのような問題に直面しているのかを教員が解説し、それを踏まえて、グループごとに「もし水道が止まって川の水を使わなくてはならなくなったら、どういった問題が生じるのか」、「子どもたちに関する問題点は?」、「井戸ができたことで人々の生活はどのように変化したか」といった課題をそれぞれ議論しました。

ワークショップ II では、「地下水の枯渇」「塩害」「河川の汚染」「(多発する)洪水」といった世界の水事情を事例として、「水に関する問題」は何が原因で起きていて、その結果どういう問題が生じているのかを関連する問題を踏まえながら因果関係を考えるという作業を行いました。



いずれのワークショップも, それぞれのグループで議論した内容を小学生に発表してもらい, 最後に簡単な質疑応答を行いました。普段教科書で学んでいる内容を具体的に自分たちの問題として考え, その解決策を探っていくことの大切さを経験する機会を提供することができました。

実施部局名

大学院法学研究院

実施代表者名

政治学部門 准教授 大賀哲

連携機関等名

筑紫野市立吉木小学校

連携期間

平成25年4月 ~

事業名

エクセレント・スチューデント・イン・サイエンス・育成プロジェクト

特色ある 取り組みの 概要 エクセレント・スチューデント・イン・サイエンス・育成プロジェクトは高校生を次世代の科学者に育てることを目的としたプロジェクトです。

物理学, 化学, 数学, 地球惑星科学及び生物学の各分野において, 強い興味や豊かな才能をもつ生徒を選抜し, 8月から翌年3月にかけて各学科で月2回, 少人数セミナー形式で大学レベルの教育を行います。プロジェクトの後半では大学レベルの課題に取り組み, 3月には受講生による発表会を行います。専門科目について高い能力を身につけた受講生はエクセレント・スチューデントとして表彰されます。



また,受講生に加えて一般の高校生や市民も対象とした年5回程度の公開講演会の開催を予定しています。

実施部局名

理学部

実施代表者名

理学部長 中田正夫

連携機関等名

九州各県教育委員会及び山口県教育委員会

連携期間

平成21年4月 ~

特色ある

取り組みの

概要

九州大学病院きらめきプロジェクト

育児・介護・自身の病気などの事情で常勤として勤務が困難な女性医師・歯科医師だけでなく、 男性にも支援を広げ、そのキャリアの継続を支援しています。

ワーキングコースでは、ライフステージに応じた 就業や研究を継続できるよう、各診療科の協力を 得て非常勤医師・歯科医師として勤務できます。

教育学習支援コースでは、多くの医療人に当プロジェクトのホームページ会員登録をしてもらい、登録者にはネットワークを介して、きらめきプロジェクト主催の講演会や九州大学病院内での研究会

をe-ラーニングにより提供し,継続的学習・研修を可能にしています。

また,男女共同参画啓発のための講演会開催や,隔月の「きらめき通信」や年1回の報告書発行など,情報発信も行っています。

年度末には、非常勤スタッフの1年間の活動をポスター形式で報告する「スタッフ発表会」を行い、病院関係者だけでなく一般の方にも公開し、医師の労働環境の現状やワークライフバランスについて紹介しています。

医学部・歯学部の学生の皆さんにもその能力を十分に発揮できるチャンスを得ることの社会的意義を理解してもらうため「学生交流会」を行っています。将来のロールモデルや生活設計を得ることができ、医師・歯科医師と学生の皆さんとの良き交流の場となっています。さらに性差医療などの教育も取り入れています。

このプロジェクトが、すべての医療人にとって働きやすい職場環境を提供することをめざしています。

実施部局名

病院きらめきプロジェクトキャリア支援センター

実施代表者名

きらめきプロジェクト(センター長)石橋達朗 (副センター長)樗木晶子

連携機関等名

福岡県医師会 総合メディカル株式会社

学内連携部局名

男女共同参画推進室 女性研究者キャリア開発センター 病院女性総合診療外来

連携期間

平成19年10月 ~

事業名

内視鏡外科手術トレーニングセンター

現在の社会における医療情勢を鑑みるにつけ、内視鏡外科手術における教育・トレーニングが非常に重要であることは明白です。

このような中,九州大学病院は、平成16年10月より「内視鏡外科手術トレーニングセンター」を運営し、一

定のカリキュラムに沿って系統的に教育・トレーニングを行っています。

特色ある 取り組みの 概要 本センターでは、①内視鏡外科手術に必要な多彩な手技の習得を目的とする「スタンダードコース」、②さらに実践的な手術の技術指導を行う「アドバンスコース」、③研修医を対象とした基礎学習を行う「ベーシックコース」、④その他PTLS医師・看護師コースの4つのコースを行うことにより、若手外科医からスキルアップを目指す外科医まで幅広く対応しています。



実施部局名

病院

実施代表者名

内視鏡外科手術トレーニングセンター長 橋爪誠

連携機関等名

福岡県医師会,福岡市医師会,日本救急医学会,日本内視鏡外科学会

連携期間

平成16年10月 ~

炭鉱関連博物館連携ネットワークを利用した炭鉱遺産を活用した教育プログラムの提案

特色ある 取り組みの 概要

石炭は、世界の一次エネルギー消費の28%、アジアでは49%を占める主要エネルギー資源ですが、採掘の進展に伴い採掘条件は深部化し、生産性の低下や炭鉱災害の発生並びに地域環境問題での制約等、石炭産業の持続発展には課題も多いのが実状です。また、石炭資源の開発・利用に際しては、環境面への負荷が他の化石燃料に比べて大きいため、クリーン・コール・テクノロジー(CCT)開発・普及が環境対策上で重要です。そこで、旧産炭地に存在している炭鉱関連博物館のネットワークを充実し、博物館に蓄えられている石炭開発・利用に係わる多くの遺産を教育現場にフィードバックする手法を構築することを目的とした事業です。

旧産炭地の博物館は主に九州地区と北海道地区に多く存在しており、 まずは、釧路市立博物館と連携し、過去の災害事例に関する蓄積された



粉じん爆発実験の様子

データや北海道地方の炭鉱開発,発展,衰退状況,現場への教育研修関連資料を提供いただくとともに,教材の一例となる簡易粉じん爆発装置を共同で開発しました。それらを実際に地域住民の会合で紹介したところ,極めてよい教育効果が発揮されました。今後は,教育現場への非常勤講師の派遣方法,遠隔地授業の可否など具体的に検討し,教育プログラムの構築を目指します。

実施部局名

大学院工学研究院

実施代表者名

地球資源システム工学部門 教授 松井紀久男

連携機関等名

釧路市立博物館

連携期間

平成25年4月 ~

事業名

特色ある取り組みの

概要

再生氾濫原アザメの瀬における地域活性化計画

佐賀県北部を流れる松浦川中流域に位置する自然再生氾濫原アザメの瀬は、住民参加による氾濫原再生事業の成功事例として注目を集める一方、地元住民の高齢化や参加メンバーの減少・固定化等の問題を抱えています。そこで、本学の有する学術的知識や大学生の若い力を導入することで、利活用・活性化について改善を図った事業です。

具体的には、民官学で連携を図り、小学生対象の環境学習教室等の実施、地域住民と今後の利活用や維持管理について話し合う検討会等の定期的な開催に取り組みました。その結果、地域における市民活動が活性化し、地域住民のアザメの瀬再生事業に対する関心が高まるとともに、地元集落間、子どもたちと年配者との交流を活性化することができました。特に夏休みに開催した環境学習教室には、地元だけでなく、福岡都市圏からも多数の参加があり、外部からのアザメの瀬や九州大学の取り組みに対する関心も高まりました。アザメの瀬で取り組まれている行事やイベントをまとめた図鑑も本事業によって発刊されました。図鑑の発刊は、地元での情報共有や対外的な広報資料として大きな役割を果たしています。また、地元住民によって、アザ

メの瀬における景観の季別変化や利用状況に関する記録も行われ、自然再生事業の評価に関する学術資料及び行政資料として 非常に重要なデータを収集することができました。

さらに、平成25年度からは、女性懇談会を開催したことにより、 それまで男性が主であった地域活動の場に、女性が積極的に参加するようになり、女性特有の視点からの意見(蓮など湿地性の花を導入することによってアザメの瀬の魅力を伝わりやすくするなど)が出されるようになり、活動の内容も多様化、活性化しました。



実施部局名

大学院工学研究院

実施代表者名

環境社会部門 教授 島谷幸宏

連携機関等名

国土交通省九州地方整備局武雄河川事務所, NPO法人アザメの会

連携期間

平成23年4月 ~

ミュージアムバスプロジェクト

平成25年6月6日から9月5日までの3ヶ月間,福岡市内を走る西日本鉄道株式会社の路線バス1台に,総合研究博物館所蔵の昆虫をモチーフにデザインしたものを施し、「キッズミュージアムバス」として運行しました。

子どもの自然体験の減少,課題解決力の低下という社会的課題に対し,バスという日常生活の身近な移動空間をミュージアム化することで,子どもたちに博物館の楽しさを知ってもらうと同時に,自然体験へのきっかけと考える力を育むことを目的とした事業です。

特色ある 取り組みの 概要

初期段階から子どもたちの意見を取り入れながら進めました。昆

虫や自然に対する興味を聞き、バスの模型を使った意見交換や実車実験を通じて、子どもたちの視点に立った楽しさや分かり易さなどを総合的に検討することができました。車内の座席カバーに昆虫の部分写真をプリントし、子どもたちの興味を引き、前の座席背面にその昆虫の生態等を解説するステッカーを貼りました。また、窓上部のポスタースペースには樹木をモチーフにしたグラフィックデザインにより自然の空間を演出し、さらに、子どもたちが自由に持ち帰ることができる昆虫のステッカーシートを設置しました。車内では親子が笑顔で昆虫の会話をするなど、バスが単なる移動手段を超えた空間となったようです。

また,6月12日から7月6日の間,総合研究博物館の常設展示室において「キッズミュージアムバス昆虫展」と題してバスで紹介している昆虫の実物標本を展示し、バスに乗った人々の来場がありました。

実施部局名

大学院芸術工学研究院,総合研究博物館

実施代表者名

デザインストラテジー部門 助教 藤 智亮

連携機関等名

西日本鉄道株式会社 西主管壱岐自動車営業所.財団法人九州大学学術研究都市推進機構

連携期間

平成24年4月 ~ 26年3月

事業名

特色ある

取り組みの

概要

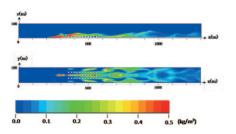
福岡県糟屋郡新宮町における飛砂対策に関する社会連携事業

ます。そこで、豊かな海浜を守りながら有効な飛砂対策を講じるための調査研究に取り組んでいます。 これまで、高い建物や防風林などがある地点では飛砂量が

これまで、高い建物や防風林などがある地点では飛砂量が 少ないこと、降水が飛砂量をかなり低減させる効果があること、また、植生実験による飛砂量の低減効果調査を実施し、コ ウボウムギを植えた試験区域では、裸地区域と比較して飛砂 量を80%低減できることなどを明らかにしました。

糟屋郡新宮町では、砂浜海岸からの飛砂の影響により生活に支障が生じており、飛砂防止対策の実施が求められてい

さらに, 防砂ネット設置による飛砂量低減効果の現地実験調査により, 効果的な防風ネットのメッシュサイズ, ネットの高さおよび設置方法を確立したほか, 新宮町を対象とした飛砂輸送量を解析的に求めるためのシミュレーション環境を整備しました。



平均風速 10m/s の風によって砂浜海岸から住宅地内 に輸送される飛砂濃度のモデル計算結果

(x:風下方向に取られた座標, y:奥行き方向に取られた座標, z:地表面から鉛直上向きに取られた座標) 上段:地上 z=14.5m の高さにおける水平断面内の飛砂濃度の分布

下段:y=50m における鉛直断面内の飛砂濃度の分布

今後は、これまで蓄積した観測結果と新宮町における飛砂輸送量のシミュレーション解析結果とを比較検討を行い、各対策工による飛砂量低減効果について定量的に明らかにし、効果的な対策工を検討していく予定です。

実施部局名

大学院総合理工学研究院,大学院工学研究院

実施代表者名

流体環境理工学部門 教授 松永信博

連携機関等名

糟屋郡新宮町

連携期間

平成23年4月 ~

17

多良木町における生ゴミを利用した完熟堆肥の製造法の開発 (竹の特性(消臭等)を利用した生ごみの回収・堆肥化システム構築事業 – 平成24年度事業名)

特色ある 取り組みの 概要

熊本県の多良木町では、人と自然が共生する町づくりを目指した「多良木町バイオマスタウン構想」に取り組み、その一環で、 生ゴミのリサイクルシステムの構築を立案しています。その計画を 支援するため、生ゴミの堆肥化の調査研究に取り組んでいます。

平成24年度、各家庭でふた付きポリバケツを使用し、それに生ゴミと脱臭材としての竹粉末を混合することにより、悪臭の発生等大きなトラブルなく毎月平均7.6tの生ゴミの収集実績をあげ、生ゴミの収集システムを確立したものの、堆肥化については、堆肥化速度と堆肥としての成分に調査研究の余地を残しました。そこで、平成25年度より、最適な通気条件を見つけるべく調査研究に取り組み、ある条件下で、堆肥化過程の温度が 70° で、はで上昇して堆肥化速度を向上させることに成功しました。また、完成した堆肥もコマツナの発芽抑制をせず、全く悪臭を感じない完熟堆肥にすることができました。

今後は、この完熟堆肥を作物生産へ循環させるため、水田条件と畑条件で完熟堆肥を用いた作物の栽培試験を行い、その肥効を解析する予定です。







- A:生ゴミと竹粉末を混合する直前の状態
- B:混合後堆肥化が進行中で湯気が確認できる
- C: 生ゴミをバケツで収集して各バケツの重量を測 定している様子

実施部局名

大学院農学研究院

実施代表者名

生命機能科学部門 准教授 山川武夫

連携機関等名

熊本県多良木町

連携期間

平成24年4月 ~

事業名

重要文化的景観「通潤用水と白糸台地の棚田景観」における水生生物を通した地域の担い 手育成事業

熊本県山都町内を流れる「通潤用水」は、平成20年に文化庁重要文化的景観に選定され、歴史的にも生態的にも高く評価された農業用水路です。山都町では、その用水と周囲の棚田、そしてそこに棲む生物の保全と活用を通して、地域活性化に努めていますが、現状は生物採集・調査を行うことができる地域住民が少なく、その貴重な水路の生態系を活用した地域の活性化事業は不十分な状況です。そこで、自然環境教育・啓発事業を行える地域の担い手を育成することを目的とした事業です。

特色ある 取り組みの 概要 具体的には、自然観察会を実施し、参加者の環境教育・啓発を行い、地域の担い手を育成すると同時に、採集された生物の記録を残すことで生態系モニタリングにつなげることを想定しています。

平成25年度は、山都町教育委員会、市民団体と連携し、自然観察会を帰省シーズンに合わせて行い、多くの子どもたちが参加しました。九州の平野部から姿を消したタガメやゲンゴロウなどを採集、記録することができ、自然観察会を継続的なモニタリングとして活用する可能性を探ることができました。



実施部局名

大学院農学研究院

実施代表者名

資源生物科学部門 助教 鬼倉徳雄

連携機関等名

山都町教育委員会

連携期間

平成25年4月 ~

地域政策デザイナー養成講座

本講座は九州大学が中心となって,九 州経済連合会, 九州地域産業活性化セ ンター, 九州経済調査協会, 西日本新聞 社のほか,経済界,自治体の協力を得て, 「地域が自ら政策を企画立案し発信でき る人材を育成するとともに,地域の課題解 決に貢献する」ことを目的として、平成22 年3月に開講しました。

受講生は,自治体職員,民間企業社員, 特色ある 経営者,専門職,大学院生等と多岐にわ 取り組みの 概要



たり, 各界有識者との意見交換, 受講生

同士の議論を通じて,政策テーマに対する問題意識を深め,地域の課題解決につながる具体的な政策提言を 行っています。

平成22年度から毎年,約半年にわたり講演及びワークショップの組み合わせによる授業を実施し,平成26 年度までの5期にわたる受講生総数は151人に上りました。講座の最終成果は提言書にまとめられ、自治体、 経済界,文部科学省等関係者がコメンテータを務める「政策研究発表会」において受講生自らプレゼンテー ションを行います。

平成26年度は政策研究テーマを「グリーン経済の構築による地域の持続的成長と広域行政」とし、受講生は 「農業」「エネルギー」「モビリティ」「ヒューマンリソース」の4つの視点に分かれたチームによる政策提言を行い ました。

実施部局名

産学連携センター

実施代表者名

リエゾン部門 教授 谷口博文

連携機関等名

(一社)九州経済連合会,(一財)九州地域産業活性化センター,(公財)九州経済調査協会,(㈱西日本新聞社

連携期間

平成22年3月 ~

事業名

伊都祭

伊都祭は、九州大学と地域(福岡市西区西部6校区(周船寺・玄洋・今宿・今津・元岡・北崎)及び糸島市) が一体となり、伊都キャンパスと、地域の魅力を発信する祭りです。

企画内容は、学生・地域が主体となった研究展示、地域紹介のパネル展示、子ども向けの体験教室、学生 サークルの発表展示のほか、ダンスや伝統芸能等のステージ企画が披露され、地域の特産品販売の露店が

出店する等,幅広い年代が楽しめるものとなっ ています。

特色ある 取り組みの 概要

本学学生,教職員,地域住民,自治体職員で 組織された実行委員会で運営されており, 九州 大学と伊都キャンパス周辺地域それぞれが持つ 特色や魅力を共同で発信しています。

伊都祭は平成19年度から開始し、現在8回 開催されました。伊都キャンパスにおける本学と 地域との連携行事として定着してきており、毎年 約1万人の来場者で盛況となります。



実施部局名

伊都共涌事務部

実施代表者名

伊都共通事務部総務•大型研究支援課長

連携機関等名

福岡市(西区)•糸島市

連携期間

平成19年10月 ~

特色ある

取り組みの

概要

里山における初等及び中等教育課程の森林環境教育の実践的導入

フィールドを活用した森林環境教育を実施しています。 平成25年度は8月に、篠栗北中学校の総合

平成25年度は8月に、篠栗北中学校の総合学習において里山林とスギ・ヒノキ人工林の森林構造と、種の多様性について実地で講義し、模擬的な森林調査を通じて里山森林フィールドにおける環境教育を行いました。また、3月には周辺の小学生に「小学生のための森のサイエンス」と題して、里山林の自然観察とシイタケの栽培体験をする公開授業を行いました。

福岡演習林が所在する篠栗町周辺の小・中 学校と連携して生徒を対象に,福岡演習林の

この取り組みにより、小・中学生が地域の森林 について興味、関心を持つと同時に、小・中学校 の教員にも社会科で取り扱われている林業や、 環境教育の実践経験の場を提供することができ ました。



小学生を対象としたシイタケの栽培体験授業

実施部局名

農学部附属演習林 福岡演習林

実施代表者名

農学研究院環境農学部門 准教授 内海泰弘

連携機関等名

篠栗町教育委員会

連携期間

平成25年4月 ~

事業名

北海道演習林を活用した中大連携・高大連携事業

次代を担う子どもたちの理科離れ、森林体験の不足、地域への理解不足が広がりつつある現状を踏まえ、北海道演習林では地元の中学校・高等学校と連携して、生徒を対象にした森林体験実習等を平成18年度から実施しています。

平成25年度は足寄中学校の生徒に、北海道 演習林内の観察歩道を見学しながら足寄の開拓 と落葉広葉樹林の関係を解説するとともに、重要 な森林管理作業である除伐や枝打ち作業の体 験実習をアカエゾマツ人工林にて実施しました。 また、足寄高等学校においては、職員が出向き、 足寄町と林業の係わり、足寄町の森の特徴、職業



ミズナラ林の説明を受ける足寄中学校生

としての林業, 今後の森林のあり方等について講義を行いました。

この取り組みにより、参加した生徒に森林や樹木に触れる機会を与え、地域の自然、林業、そして環境問題について理解を深めてもらうことができました。

取り組みの概要

特色ある

実施部局名

農学部附属演習林 北海道演習林

実施代表者名

農学研究院環境農学部門 准教授 久米篤

連携機関等名

足寄町立足寄中学校,北海道立足寄高等学校

連携期間

平成18年4月 ~

大分県内における耕作放棄地放牧の推進とICT放牧管理システムの普及事業

特色ある 取り組みの 概要 わが国では、農業従事者の減少などにより、 急激に耕作放棄地が増加しており、高原農業 実験実習場が所在する大分県でも同様です。 耕作放棄地は、病害虫・有害鳥獣の発生源、 景観・生活環境の悪化などの問題を抱えていま す。そこで、耕作放棄地など遊休地を放牧活用 し農地として保全することとICT技術による新し い放牧管理システムの普及により地域の畜産 業の活性化を目指す事業です。

本学では、輸入穀物飼料に過度に依存しない国内の草資源を使った安心・安全で良質な



肉牛生産に関する研究(九州大学ブランド牛"QBeef")と労働環境改善等のためICT技術を取り入れた新しい畜産システムに関する研究を行ってきました。これらの研究シーズを活用し、耕作放棄地放牧を推進するため、大分県と連携して、畜産農家、大分県普及指導員そして民間メーカーを集め、平成26年3月5日に「耕作放棄地放牧の推進と新しいネット技術で放牧を楽しくするための挑戦」と題してシンポジウムを開催し、活発な議論を行いました。今後、さらに多くの場所で普及できるように研究を進めていきます。

実施部局名

農学部附属農場 高原農業実験実習場

実施代表者名

農学研究院資源生物科学部門 准教授 後藤貴文

連携機関等名

大分県

連携期間

平成24年4月 ~



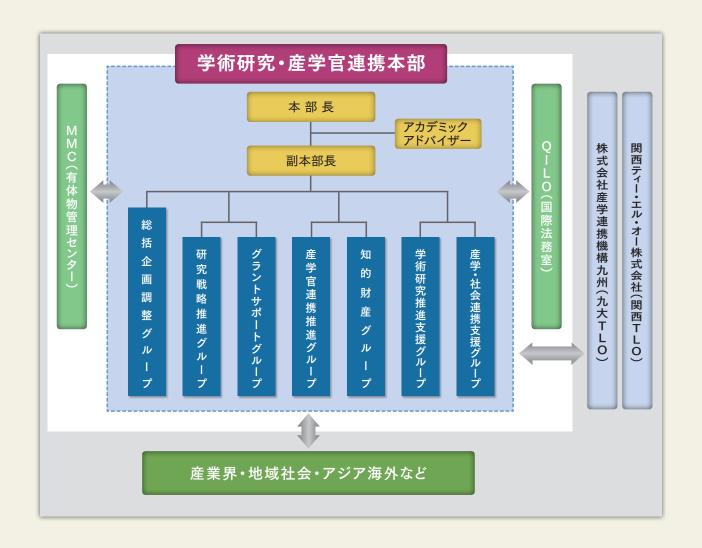
(1)九州大学の組織的な連携のための体制

(1) 学術研究・産学官連携本部

九州大学では、これまで産学官連携推進の一元的中核組織である産学官連携本部が、教育・研究活動と地域社会・産業界とのインターフェイスの役割を果たしてきました。

さらに平成27年4月からは、研究戦略企画及びプロジェクトの管理・運営を担う組織と統合し、「学術研究・産学官連携本部」として、本学の研究活動全体のマネジメント、産学官連携の推進及び知的財産の管理・活用に係る連携機能を強化します。

九州大学は,企業や自治体等と組織的な連携体制を構築し,教育研究の活性化・高度化へ寄与するとともに,大学の持つ全てのリソースを駆使して有用な価値を創造し,社会の発展に貢献します。



(2) 自治体との組織的な連携協定締結状況

九州大学では、自治体と連携協定を締結し、知的資源、地域資源の活用及び人材交流等の連携事業に取り組んでいます。

連携協定締結機関(平成26年12月現在,協定締結順)

宗像市,福岡市,糸島市,佐賀県唐津市,佐賀県,福島県会津若松市,佐賀県鹿島市,佐賀県玄海町

(3) 自治体との組織的連携事業の実例

①ICTを活用した見守りのまち糸島(糸島市)



総務省の委託事業「ICT街づくり推進事業(事業費:約1億300万円)」として、九州大学と糸島市が連携し、「見守り」をテーマとした市民参加型の実証に取り組みました。(写真は平成25年8月の記者会見)

この事業で活用する技術は、九州大学システムLSI研究センターの持つVRICSシステムです。これは、非接触型ICカードをカードリーダーで読み取り、個人を特定することで、その人の権限に応じた各種サービスの実施等を可能にするものです。

現在, 九州大学の学生・教職員の職員証, 糸島市職員の職員証として当該ICカードが利用されています。

糸島市は,九州電力玄海原発(佐賀県玄海町)の30km圏内(UPZ)に1万5,000人が住んでおり,万が一,重大事故が発生した場合は,市民を円滑に避難させ,避難所での安否確認を行う必要があります。

そこで、九州大学と糸島市は、共同で市のイメージキャラクターの名称を付けた「いとゴンカード」を作成し、全国でも類を見ない規模である市民約2万5,000人に配付。避難訓練をはじめ、小学校児童の登下校時の見守りなどに活用しています。

今後も,超少子高齢社会への対応を念頭に,市民の安全・安心のため,九州大学の持つICT技術を地域の見守りに役立てていきます。

【総務省 ICT 街づくり推進事業 ICT を活用した見守りのまち糸島】

- ①避難住民(避難時の本人確認)
- ②子ども(幼児・小学校児童の見守り)
- ③高齢者(シニアクラブ活動の出欠確認)
- ④買物弱者(買物不便地域への移動販売の代金決済)
- ⑤市内公共交通機関利用者(コミュニティバスの運賃決済)



②福祉ロボットで,地域社会の元気づくり~産官学で支える超高齢社会~(糸島市)



全国的に高齢化が進む中,今後は「高齢者の元気」が「地域社会の元気」につながっていきます。

そこで、高齢者がいつまでも健康で、生きいきと生活できるよう、九州大学と住友理工㈱、糸島市の産官学連携で、高齢者の歩行を楽にする「歩行アシストスーツ」の開発を進めています。九州大学の制御・ロボット技術と住友理工㈱の柔軟センサー技術を組み合わせ、糸島市と市民の協力を得て実証研究を行っています。

③水産業活性化のための共同研究~呼子のイカに次ぐブランド魚を目指して~(唐津市)

・水産業活性化支援センターにおける研究

九州大学と唐津市は低迷する水産業の活性化と、水産物の利用による地域活性化を目的として、平成24年4月から共同研究をスタートさせました。九州大学は農学研究院の中に唐津水産研究センター共同研究部門を新設し、唐津市は先進研究の実施拠点として唐津市水産業活性化支援センター(管理研究棟、水槽棟)を整備しました。

現在, 唐津市水産業活性化支援センターには唐津市からセンター長1名, 事務職員1名, 九州大学から研究スタッフ3名と技術補佐員3名が配属され研究に取り組んでいます。

唐津市水産業活性化支援センターでは、「マサバの完全養殖プロジェクト」、「ケンサキイカの繁殖に関する先端的研究プロジェクト」、「肝ののったウマヅラハギ完全養殖プロジェクト」などの研究を行っています。先進的な技術によって特定魚種の完全養殖技術を開発し、新たな食の目玉を開発することで地域の活性化に取り組んでいます。また、世界に向けて情報発信できる先進的な研究を行い、その情報を発信し続けることにより「水産のまち唐津」の知名度向上と唐津への訪問客の増加を目指しています。

・プロジェクト背景

九州大学と唐津市は、「国立大学法人九州大学と唐津市との協力協定書」(平成19年2月28日締結)に基づき、産業の高度化に関する

活動の一環として、両者が相互に連携・協力し、新しい水産資源の創出及び水産業の高度化など、唐津市における水産業の振興を図ることを目的に、唐津市が行う「唐津水産業活性化支援事業」に関する実施協定を締結しました。これらの協定に基づく共同研究が平成24年度から開始され、平成31年度まで継続実施される予定です。

・「マサバの完全養殖プロジェクト」紹介

九州大学と唐津市は、唐津市の水産業の新しい目玉となる新水産資源創出プロジェクトを推進しており、そのプロジェクトの一つとして、マサバの完全養殖を目指しています。平成24年度から研究が始まり、福岡県福津市津屋崎で約3千尾、平成25年度には1万2千尾の種苗を生産し、唐津市内の養殖業者の協力を得て、海面イケスや陸上養殖施設で試験養殖を実施してきま



した。今年度に入り、量産技術開発に成功し、水産業活性化支援センターで約2万尾の種苗を生産しました。平成26年9月からは、試験養殖を経たマサバの商品化に一定の目途が立ったことから、試験出荷を行っています。また、その成果物の販売が呼子鎮西旅館組合の協力により行われています。

今後は、肉質及び成長向上のための飼料開発なども行い、マサバを安定供給できる体制をつくっていきます。

※完全養殖のマサバは、脂の乗りが一年中一定以上あり、腹痛の原因となる寄生虫(アニサキス)の寄生がほとんどなく安心安全に食べることができます。新たな養殖魚種としてマサバを定着させ、イカ料理に次ぐ目玉料理の開発を目指します。

九州大学では、大学の知識や技術を地域社会に役立て、企業や自治体、市民と共に、よりよい社会づくりに貢献します。

(2)地域とのネットワーク

九州大学では、行政・地域経済界と連携してネットワークを構築し、活力ある地域づくりに取り組んでいます。

【ネットワークの一例】

機関名

福岡地域戦略推進協議会(FDC)	産官学民が一体となり、福岡の新しい将来像を描き地域の国際競争力を強化するために、「移出産業振興」「経済基盤強化」「街づくり」等、福岡都市圏の成長戦略の策定から推進までを一貫して行う。
大学ネットワークふくおか	福岡都市圏の大学及び圏域の魅力と活動内容に関する情報を全国・世界に発信するとともに,教育研究の発展及び活力ある地域づくりに貢献することを目的に,福岡都市圏の大学・産業界・行政が連携して事業に取り組んでいる。

- 4 公開講座等の実施状況

(1)公開講座の実施状況

大学の教育・研究成果を広く社会に還元・共有する取り組みとして、地域社会における教育文化の向上を目的に、小学生から一般まで幅広い層を対象に、実践的なフィールドワーク、社会のニーズに応じたテーマによる講義など有料・無料の様々な公開講座を実施しています。

【平成23~平成25年度の状況】

年度	有料講座		無料講座		計	
+ 皮	件数	受講者数	件数	受講者数	件数	受講者数
23年度	22	544	18	1,380	40	1,924
24年度	25	580	19	1,173	44	1,753
25年度	22	548	22	1,585	44	2,133

※無料講座は把握できた人数のみを計上しています。

【平成26年度の状況(平成26年10月末までに終了した講座)】

■ 有料講座

実施部局名	講座タイトル	受講者
教育学部,人間環境学研究院	学校管理職マネジメント短期研修プログラム	51
薬学研究院	医療・創薬の革新 ~基礎および臨床現場の取り組み~	123
数理学研究院 マス・フォア・インダストリ研究所	現代数学入門	
	建築探偵シリーズその10 創造都市の歩き方(2) 〜アジアの創造都市を訪ねて〜	
	建築探偵シリーズその11 汎美計画から芸術工学へ 〜芸術工学の創造者小池新二(九州芸術工科大学初代総長)の戦前期デザイン思想と戦後の実践を巡る物語〜	16
	3Dプリンタでモデルを作ろう―3Dデジタルモデリングの1日体験―	18
	蓄音機でよみがえる大正・昭和の芸能文化	48
芸術工学部	聴能形成実務担当者講座	2
	絵画の学校/油絵,アクリル画,水彩,デッサン	20
	高校生のための「フィルム写真撮影と現像」講座	9
	高校生のための環境設計公開講座	13
	高校生のための音と画像の実験	33
	高校生のための最先端メディアスタジオワークショップ	14
	黒澤映画で楽しむシェイクスピア	11
農学部附属農場	ウリ科野菜の育ち方 〜世界にたった1個のメロンを目指して! & キュウリの接ぎ木もやってみよう!〜	9
	里山森林体験講座-野外活動で学ぶ環境問題と森林の働き-	15
典类如时层定额社	九州山地の森を知ろう	15
農学部附属演習林	九州山地の森と樹木	9
	森林の光の色-植物が好きな光,嫌いな光-	18

■無料講座

実施部局名	講座タイトル	受講者
>+ 24 TH (\$\frac{1}{2}\)	世界一大きな授業@九州大学	113
法学研究院	第13回九州大学 理学部生物学科 公開講座	293
医学部保健学科	第12回九州大学医学部保健学科公開講座 身近な健康を考える2-安全に健やかに-	92
病院	第6回血液疾患医療講演会	47
	高校生のための工業設計学科のデザイン講座(基礎編)	17
芸術工学部	高校生のための工業設計学科のデザイン講座(演習編)	18
	高校生のための工業設計学科のデザイン講座(体験編)	16
工学研究院	(究極の)滑らかさ	39
工学部	船舶海洋科学技術におけるロボット工学への挑戦	25
システム情報科学研究院	中学生の科学実験教室2014	96
総合理工学府	サステナブル社会実現に貢献する日本の先端的省エネルギー技術	54

※ 受講者数は延べ人数を計上しています。

(乙)神典女・ピンノ	一寺の夫心へが (平成26年度:4月~10月末
実施部局	実施内容
九州大学(本部担当企画等)	基幹教育キックオフシンポジウム「大学における学びのあり方を問い直す」(5),九州大学特別主幹教授就任記念 中村 哲特別講演会「アフガニスタンで真に必要とされることー異文化の中での国際貢献30年」(5),開学記念行事【学内研究施設公開】(5),第15回北大・九大合同フロンティアセミナー「文化を旅するーグローバル化時代の人文学」(6),JAXA 若田光一宇宙飛行士が母校九州大学を訪問(8),九州大学・福岡県教育委員会共同開催シンポジウム「新たな未来を築くための人材育成と教育の接続PARTIII」(8),平成26年度 IDE大学セミナー(9),モルヒネでも抑えられないとんでもない痛み-史上最悪の痛みへの挑戦-(10)
地球社会統合科学府	第6回 地球社会統合科学セミナー「アジアを生きる~交流・移動・定着~」(6),地球社会統合科学府 言語・メディア・コミュニケーションコース 言語教育セミナー「外国語学習の科学 -第二言語習得論とは何かー」(7),第7回地球社会統合科学セミナー「多様性共存の可能性 ジェンダー・セクシュアリティ・クィアの観点から」(7)
経済学府ビジネス・スクール	経済学部90周年記念講演会 「チャレンジャー・イノベーターの戦略」 (9),第4回QBSビジネスプランコンテスト 『創業特区 福岡にアントレプレナー集結 ~変革の鼓動~』 (9)
統合新領域学府	博士と一緒にノラネコ研究してみよう! 【コドモtoサイエンスカフェ第11回】 ~ 博士と一緒にノラネコ研究してみよう! ~ (8)
博士課程リーディングプログラム (分子システムデバイスコース)	The 2nd Student Meeting of Leading Graduate School『博士のEmployabilityと博士教育と社会との接続』(6), 一般公開特別講義「リーダーとしての仕事術」(8)
比較社会文化研究院	比較社会文化研究院社会連携事業セミナー 日常生活の中の見えざる差別・偏見・ステレオタイプ ―他者理解とコミュニケーションの課題を考える— (9)
人間環境学研究院	平成26年度多分野連携プログラム「学校トイレ研究会」 凡事徹底―トイレ掃除は心磨き― (10)
言語文化研究院	韓国英語パワーの秘訣とディベート Korea's English Education & Debating Discussion with Professor Kipp of Ewha Womans Univ (6), 韓国梨花女子大ディベートチーム 国際親善英語ディベート 世界大会形式による公開模擬ディベート (6), 日本語教育ワークショップ 九州大学大学院地球社会統合科学府言語・メディア・コミュニケーションコース 言語教育セミナー OJAD (Online Japanese Accent Dictionary) を用いた音声指導 (8), 日韓交流英語ディベート大会(8), ディベート入門講座 第11回JDA九州ディベートセミナー 一日で初歩から試合練習まで(10)
理学研究院	ミニシンポジウム 『脳とからだの非対称性を生みだすしくみ』(7),理学部化学科・夏の高校生向け公開企画(8),平成26年度 ESSP第1回公開講演会 イマジナリーキューブ・パズル (8),平成26年度ESSP第2回公開講演会 腸内細菌との共生 -生存の せめぎ合いで生まれる絶妙のバランス- (10)
医学研究院	西日本がんプロ合同市民公開シンポジウム がんと向きあって生きる(10)
病院	九州大学医師会公開講座(8), 第2回TR推進合同フォーラム 動き始めたライフイノベーション(10)
工学研究院	オープンラボ開催 航空宇宙工学専攻オープンラボ (5), アニス・ウッザマン氏 講演会「日本と日本企業を元気にする7つの法則」 ーシリコンバレーのベンチャーキャピタリストによる提言— (6), 日本カプトガニを守る会 カプトガニ公開講座「絶滅危惧種・カプトガニの保全から日本の沿岸環境を考える (8), ワークショップin対馬 対馬の海について漁業者と科学者の対話 (9), カプトガニ 国際シンポジウム 海の生物多様性の保全と希少生物の保護・インドと日本のカプトガニを中心に・ (10), 浮体式洋上風車に関する日米ワークショップ US-Japan Workshop on Floating Wind Turbine (10)
芸術工学研究院	
システム情報科学研究院	システム情報科学による安心の社会基盤 先端サマーセミナー2014(8)
農学研究院	未来創成微生物学寄附講座開設5周年シンポジウム(4), アグリコラボいとしま・講演会 『 Dr.コトーが語る。"私が考える糸島の未来農像"」(5), 糸島市九州大学連携研究助成金 研究発表会(H25年度助成分)(7), 「京」シンポジウム新生命科学分野開拓とスーパーコンピュータ「京」(9)
芸術工学部	【芸術工学部】H26勧進企画 音響展『PLAYLIST』(10)
附属図書館	著作権セミナー~教育活動と著作権~(6),全国大学ビブリオバトル2014京都決戦~九州大学予選会~(10)
ユヌス&椎木ソーシャルビジネス 研究センター	ソーシャル・ビジネス・フォーラム・アジア2014 ムハマド・ユヌス博士来日 公開シンポジウム ソーシャル・ビジネスと日本, その実践知(7)
科学技術イノベーション政策教 育研究センター	研究・技術計画学会 九州・中国支部 第8回研究会開催案内 イノベーション政策におけるデザインの視点(7)、STI政策専修コース「地域サステナビリティ」特別講演会「地方自治体と大学の連携による地域のイノベーション(予定)(7)」、「2014年度 STI政策専修コース 科学技術社会論概説」開講1周年記念特別セミナー(9)
中央分析センター	分析基礎セミナー(5~10:計7回)
総合研究博物館	九州大学教育・研究の最前線―第13回P&P研究成果―般公開―(10),自然史データベース説明会 (10)
産学連携センター	第177回KASTECセミナー(8)
超顕微解析研究センター	超顕微解析研究センター開設記念講演会 先端的電子顕微鏡解析と材料科学研究(10)
ロバート・ファン/アントレプレナー シップ・センター	Global Entrepreneurship Seminar Creativity inspried Innovation -Where Design Meets Entrepreneurship-(9)
稲盛フロンティア研究センター	第11回稲盛フロンティア研究講演会(9)
学術研究推進支援機構	JEUPISTEプロジェクトセミナーエネルギーと環境: Horizon2020を通じた日欧の戦略的連携(6)
産学官連携本部	九州大学新技術説明会(10),第1回ビジネス創造交流会(10)

※ 九州大学公式サイトから発信された情報及び部局から提供のあった情報を掲載、()内の数字は開催月。

(3)出前講座,模擬授業の状況

福岡県をはじめ、九州各県等にある教育機関の要請に応じて、大学での高度な教育・研究に触れる機会として出前講義を実施しているほか、模擬授業を通じて大学での学ぶことの魅力や楽しさを知っていただく取り組みを実施しています。

【出前講座実施件数	(平成25年度)
学部	件数
文学部	6
教育学部	4
法学部	11
経済学部	9
理学部	29
医学部	5
薬学部	7
工学部	24
芸術工学部	58
農学部	7

160

【出前講座実施先】 (平成25年度:五十音順)

県等名	高等学校等名
福岡	育徳館高等学校,春日高等学校,香住丘高等学校,上智福岡高等学校,城南高等学校,新宮高等学校,西南学院高等学校,筑紫女学園高等学校,筑前高等学校,伝習館高等学校,東筑高等学校,ひびき高等学校,福岡高等学校,福岡雙葉高等学校,京都高等学校,明善高等学校,八女高等学校
佐賀	唐津東高等学校, 弘学館高等学校, 佐賀西高等学校, 武雄高等学校
長 崎	諫早高等学校, 五島高等学校, 佐世保北高等学校, 佐世保西高等学校, 佐世保南高等学校, 聖和女子学院中高等学校, 長崎北高等学校, 長崎東高等学校, 北陽台高等学校
熊本	天草高等学校, 済々黌高等学校, 熊本マリスト学園高等学校, 八代高等学校
大 分	佐伯鶴城高等学校,中津南高等学校,日田高等学校
宮崎	小林高等学校,延岡高等学校,宮崎大宮高等学校,宮崎北高等学校,五ヶ瀬中等教育学校
鹿児島	指宿高等学校, 大島高等学校, 鹿児島中央高等学校, 加治木高等学校, 鹿屋高等学校, 甲南高等学校, 鶴丸高等学校
沖 縄	開邦高等学校, 球陽高等学校, 昭和薬科大学附属高等学校
中国•四国 地方	宇部高等学校(山口),大津緑洋高等学校(山口),下関西高等学校(山口),徳山高等学校(山口),下関中等教育学校(山口),舟入高等学校(広島),基町高等学校(広島),今治西高等学校(愛媛),松山中央高等学校(愛媛),松山東高等学校(愛媛),宇和島南中等教育学校(愛媛)
関西地方	嵯峨野高等学校(京都), 関西大倉高等学校(大阪), 北須磨高等学校(兵庫)

【模擬授業実施状況】 (平成25年度)

学部	講義名又はテーマ		
	体験入学~物理の世界を体験しよう~		
	現代物理学講座		
	公開講座と研究室訪問		
	高校生・受験生のための理学部化学科特別談 話会		
	公開講演会「最新化学談話シリーズ」		
理学部	フクオカサイエンスマンス参加企画「理学部化学 科特別談話会」		
	地球惑星科学科1日体験入学		
	現代数学入門		
	理学部生物学科公開講座		
	次世代科学者育成講座セミナー		
	次世代科学者養成講座公開講演会		
	バイオエレクトロニクスの先端技術 味覚センサー		
工 类 如	インターネット無線通信		
工学部	船舶, 鉄道車両, 航空機などの輸送機器の衝突 安全性について		
	飛行の原理~翼のまわりの流体現象~		
	高校生のための環境設計公開講座		
芸術工学部	高校生のための工業設計学科のデザイン講座 (基礎編)		
	高校生のための工業設計学科のデザイン講座 (応用編)		

	(平成25年度)
学部	講義名又はテーマ
	高校生のための工業設計学科のデザイン講座 (総合編)
	高校生のための最先端メディアスタジオワーク ショップ
	オーディオエンジニアの耳に挑戦〜聴感トレーニ ング(聴能形成)体験〜
芸術工学部	心はたやすく身体を飛び立つ一人間の錯覚を利 用したバーチャルリアリティ
	現実のような非現実。理科系のコンピュータグラ フィックス
	音の原理を知れば,もっと上手に楽器が演奏で きる
	写真撮影実習, 九大開発のゲームソフト体験, 3D映像, 高精細映像体験, 生徒撮影写真による 映像作品上映
	上級学校体験
	SSH実験•実習体験講座
	環境昆虫学及び野外実習
曲光如	微生物を科学する
農学部	フィールド畜産学及び実習
	食と農の環境科学
	森林のサイエンス
	農学部入門(ダイズの科学)

5 学生による取り組み

■ 糸島空き家プロジェクト

糸島市及び近郊の空き家を学生の手によって企画立案・改修工事を行い、地域と大学・学生の交流の場とする活動です。 これまでに、シェアハウス「糸屋」、学習塾付き住宅、地域商工会の会議や学生活動拠点、地域住民の憩いのスペースとして 利用可能な「がやがや門」等を施工し、地域の魅力を体感できる暮らしを提案しています。

■ 夏野菜カレー祭り

糸島市の生産者グループが作った夏野菜を使ったカレーを学生たちに振る舞うイベントです。学生実行委員会と新入生サポーターの企画・運営により、一人暮らしで食生活が乱れがちな学生に食の大切さを伝えるとともに、生産者と学生の交流を深めています。



■ 東区コミュニティユース事業

福岡市東区では、地域の課題解決や魅力づくりに向けて、大学生と地域が共働で取り組む活動を支援する「東区コミュニティユース」事業が実施されています。本学の学生も、地域に積極的にかかわるべくその専門的知識等を活かしながら、この取り組みに参画しています。

事業名	概要	実施部局	採択年度
箱崎アート・ワークショップ & レクチャー (箱崎マンスリーワークショップ)	地域のアーティストをファシリテータに迎え、親子あるいは障がいを 抱える方など広く地域社会の方々に開かれたアート共創体験の場 の提供として、アートワークショップを開催し、その豊かな芸術文化 の共有体験を通して、まちが地域に暮らす市民にとって安らぎあえ る共有地となることを目指す取り組み	統合新領域学府生	平成22~24年度
箱崎音楽童ピアノプロジェクト	子供たちに開かれた学びの場としてまち全体が広く機能する空間となるよう、商店街で無料こどもピアノ教室、そして半年間のレッスン期間終了後には、成果発表会としてピアノコンサートを開催し、地域社会全体が「子育て」「人材育成」をテーマに循環し、コミットしあうまちの仕組みづくりをピアニストや商店街の人々との協働によって模索する取り組み	統合新領域学府生	平成22~24年度
箱崎アートターミナル	地域の方々と共に箱崎の未来を見据えたアートフェスティバル「箱崎アートターミナル」やフォーラムの企画運営を行い、文化を通した豊かな地域創造の推進を継続的に実践化する仕組みづくりを産官学・民の協働によって模索する取り組み	統合新領域学府生	平成22~24年度
自然と一緒にわくドキ体験in箱崎 (自然の中の"わくドキ"探しin箱崎)	月に1回程度, 子供と親を対象とした, 自然と関わるワークショップ を開催し, 子供の自然を愛でる心や親の自然体験に対する意識を 高め, 豊かな感受性を育むことを目指す取り組み		平成22~24年度
体験しよう!宇宙の不思議 (宇宙天気アウトリーチ活動)	小学生を対象に本学の最新の施設や研究に触れてもらい、宇宙開発・利用や宇宙の活動状況などを紹介して、宇宙という遠いようで実は身近に迫っている題材を体験型の学習で楽しく学ぶことで子供たちに科学の面白さを認識してもらう取り組み	理学府生	平成22~24年度
世界の貧困を疑似体験する参加 型ワークショップ	小学生, 保護者に本学学生と共に少数のグループに分かれてもらい, 世界経済の仕組みや問題点を疑似体験するシュミレーションゲームをとおして, その解決の道について考えてもらう取り組み	法学部生	平成25年度~









発行:九州大学社会連携推進室 住所:福岡市早良区百道浜3-8-34

電話: 092-832-2123

E-mail: sosrenkei@jimu.kyushu-u.ac.jp

URL: http://www.kyushu-u.ac.jp/university/coopration/

